

飛龍無双 (1955)

メディア 映画

ジャンル

製作国 日本

色彩 B&W

時間 102分

初公開日 1955/09/13

【解説】

陣出達朗の原作を浪江浩と深田金之助が脚色し佐々木康が監督。土佐派の画家として愚直に生きた又平の半生を描く。文部省特選映画。

京都で土佐派と狩野派がしのぎをけずっていたころ。土佐派の当主である将監の高弟にあたる又平は、吃音という障害を持ちながらも、絵を描くことにすべてを捧げていた。狩野派の当主から、将監の娘の小夜路を息子の嫁にしたいという申し出があると、又平はこれを断りに出かけ、代わりに三井財閥の世継との婚約をまとめた。しかし小夜路を密かに慕う弟弟子の修理之助の中傷により、又平は将監のもとを追われてしまう。又平は自分の後をついてきた女中の徳江と結婚するのだが、又平の風変わりな絵はなかなか売れず、二人は貧乏生活を余儀なくされる。

【クレジット】

監督 佐々木康

企画 玉木潤一郎

原作 陣出達朗

脚本 浪江浩
深田金之助

撮影 三木滋人

美術 鈴木孝俊

音楽 吉村正志

出演 片岡千恵蔵
三浦光子
東宮秀樹
若山セツ子
三条雅也